

第113期

(平成18年度)

中間報告

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで



株式
会社

中山製鋼所

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。
平素は、格別のご厚情を賜り、まことに有り難く厚くお礼申しあげます。

さて、当社は平成18年9月30日をもって、第113期中間期を終了いたしましたので、ここに営業の概況をご報告申しあげます。

平成18年11月

代表取締役社長 藤井 博務



1. 当中間期の概況

当中間期のわが国経済は、原油、原材料価格の高騰があったものの、堅調な民間設備投資および個人消費に支えられ緩やかな拡大基調で推移いたしました。

鉄鋼業界におきましては、自動車・造船・産業機械などの製造業向け需要が引き続き堅調に推移し、需給環境は総じてタイトな状況となっておりますが、建材向けを中心とする汎用品分野では、中国での鋼材生産の拡大により市況に軟化がみられました。

このような状況のもとで、当社グループは、さらなる安定した収益基盤づくりを目指した中期経営計画(平成18年度～20年度)に基づき、熟延をはじめとした設備増強を計画どおり進めております。

〔鉄鋼事業〕

グループのコア事業である鉄鋼事業におきましては、販売面で、鋼材販売数量は増加したものの、鋼材販売価格が下落しました結果、売上高は前年同期を若干下回りました。損益面におきましては、原材料価格の高騰に伴う仕入れコストの上昇に加え、鋼材販売価格が大幅に下落し、また、コークス事業におきましても、原料炭の購入価格高騰および市況の悪化に伴うコークスの販売価格の大幅な下落などが響き、合理化を含めたコスト改善を実行いたしました。前年同期に比べ大幅な減益となりました。

高級鋼化の推進のため、熟延加熱炉新設、電気炉連続鑄造機改造ならびにスキンプアスミル新設などの大型設備投資は、計画どおりに進捗しております。

鉄鋼事業の当中間期の連結業績につきましては、売上高は876億7千2百万円(前年同期比12億6千9百万円減)となり、営業利益は32億5千3百万円(前年同期比65億2千4百万円減)となりました。

〔エンジニアリング事業・不動産事業・化学事業〕

エンジニアリング事業につきましては、販売面で、堅調な民間設備投資を背景にきめ細かい営業活動を展開しましたが、検取遅れ等により、減収となりました。不動産事業につきましては、賃貸収入を中心にほぼ前年同期並み

の売上高を確保しました。化学事業につきましては、本年3月に有機化学分野の強化のため富士アミドケミカル株式会社を買収したことにより増収となりました。

これら3事業の当中間期の連結業績につきましては、売上高は81億4千1百万円（前年同期比6億5百万円増）となり、営業利益は4億8千5百万円（前年同期比1億2千6百万円増）となりました。

〔その他の事業〕

環境リサイクル事業につきましては、全体事業計画の一部でありますRPF（固形燃料）工場が、順調な操業をしております。

以上の結果、当中間期の連結決算につきましては、売上高は958億1千5百万円（前年同期比6億6千3百万円減）、営業利益は37億2千3百万円（前年同期比63億4千8百万円減）、経常利益は31億6千4百万円（前年同期比60億7千6百万円減）となりました。これに特別損失として、設備更新に伴う固定資産除却損などを計上しました結果、当中間純利益は10億8千6百万円（前年同期比53億8千万円減）となりました。

また、財務面において当社グループの重点課題であります有利子負債の状況につきましては、当中間期の連結有利子負債残高は前年度末に比べ1億7千3百万円減少し742億7千万円となりました。

なお、当中間期の単独決算につきましては、売上高は637億9千4百万円（前年同期比16億3千9百万円減）、営業利益は15億4千万円（前年同期比64億6百万円減）、経常利益は9億1千7百万円（前年同期比61億円減）、中間純利益は4億9千9百万円（前年同期比50億1千3百万円減）となりました。

当期の中間配当金につきましては、今後大型設備投資があり、そのための内部留保の充実に留意しつつ、連結業績に連動して可能な限り株主の皆様へ還元していく見地から、1株につき3円とさせていただきます。

2. 今後の見通しと課題

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、企業収益や個人消費などが引き続き堅調に推移するものと見込まれますが、原油等の資源価格の高止まりや米国経済の減速等の影響が懸念されます。

鉄鋼業界におきましても、国内需要は製造業向けを中心に堅調に推移するものと予想されますが、原燃料価格や鉄スクラップ価格の高値が続くものと思われれます。

このような情勢のもとで、当社グループは、激変する経営環境に迅速かつ的確に対応するとともに、引き続き安定した収益を確保できる経営基盤の構築に全力を尽くしてまいり所存であります。

特に鉄鋼事業におきましては、高級鋼化と紐付け化の推進、新日鐵グループ殿との連携の強化、顧客ニーズ対応力の飛躍的向上およびそのための中期設備投資計画の進捗により安定した収益基盤造りに最善の努力を傾注してまいります。今後とも国内外の需要に見合ったフレキシブルな営業・生産体制を堅持し、既存の店売り汎用品分野においても、顧客満足度の向上とコスト削減努力により、損益の改善に努めてまいります。また、エンジニアリングなどのその他の事業につきましても、引き続きグループ力を結集し収益改善努力を行い、事業体質の強化に邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、以上の事情をご賢察のうえ、今後ともなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務諸表の概要

中間連結貸借対照表 (平成18年9月30日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	82,190	流動負債	61,714
現金及び預金	10,036	支払手形及び買掛金	24,792
受取手形及び売掛金	39,675	短期借入金	28,345
有価証券	106	1年内償還の社債	40
たな卸資産	29,494	未払法人税等	3,519
繰延税金資産	634	未払費用	873
その他	2,978	賞与引当金	1,491
貸倒引当金	△ 735	設備引当金	1,603
固定資産	140,155	その他	42
有形固定資産	129,497	固定負債	76,936
建物及び構築物	18,486	普通借入金	80
機械及び装置	38,037	長期借入金	45,805
車両及び運搬具	442	退職給付引当金	4,284
工具器具及び備品	836	環境対策引当金	420
土地	69,641	特別修繕引当金	12
建設仮勘定	2,054	繰延税金負債	4,878
無形固定資産	730	繰延税金負債	9,185
ソフトウェア	242	再評価に係る繰延税金負債	11,732
その他	487	その他	536
投資その他の資産	9,927	負債合計	138,650
投資有価証券	8,436	(純資産の部)	
長期貸付金	98	株主資本	49,638
繰延税金資産	18	資本金	15,538
その他	1,564	資本剰余金	10,182
貸倒引当金	△ 190	利益剰余金	24,201
		自己株式	△ 284
		評価・換算差額等	17,390
		その他有価証券評価差額金	1,616
		土地再評価差額金	15,774
		少数株主持分	16,667
		純資産合計	83,695
資産合計	222,346	負債及び純資産合計	222,346

中間連結損益計算書 (平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
売上	95,815
売上原価	86,774
売上総利益	9,040
販売費及び一般管理費	5,317
営業利益	3,723
営業外収益	443
営業外費用	1,002
経常利益	3,164
特別利益	52
特別損失	442
税金等調整前中間純利益	2,774
法人税、住民税及び事業税	775
法人税等調整額	482
少数株主利益	430
中間純利益	1,086

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位:百万円)

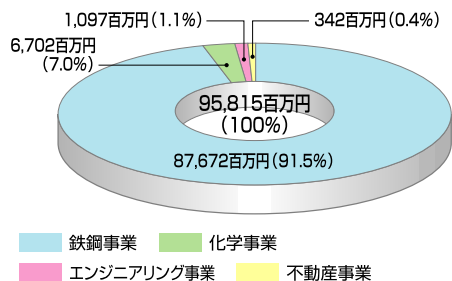
科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,777
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,594
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,816
現金及び現金同等物の増減額	3,366
現金及び現金同等物の期首残高	6,337
連結範囲の変動による増減額	332
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,036

連結子法人等 (平成18年9月30日現在) (8社)

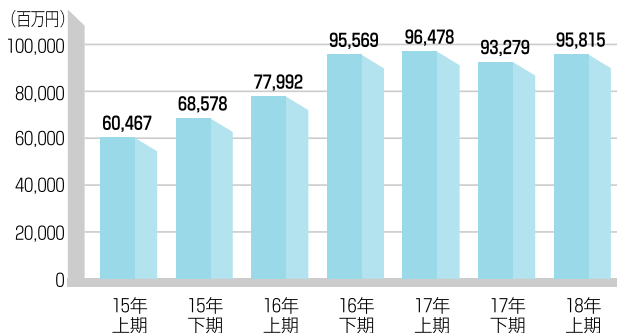
中山興産株式会社	三星商事株式会社
中山三星建材株式会社	南海化学工業株式会社
中山通商株式会社	三泉シャヤ株式会社
三星海運株式会社	富士アミドケミカル株式会社

セグメント別連結売上高

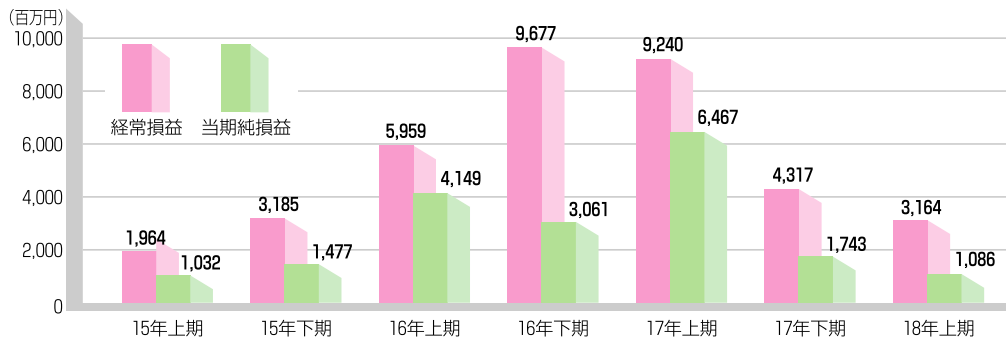
(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)



連結売上高の推移



連結経常損益・連結当期純損益の推移



中間連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株 主 資 本				株主資本合計	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日残高	15,538	10,182	23,802	△ 278	49,245	1,840	15,775	17,615	14,878	81,739
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 639		△ 639					△ 639
役員賞与の支給			△ 50		△ 50					△ 50
中間純利益			1,086		1,086					1,086
自己株式の取得				△ 5	△ 5					△ 5
土地再評価差額金の取崩				1	1					1
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						△ 224	△ 1	△ 225	1,788	1,562
中間連結会計期間中の変動額合計			398	△ 5	393	△ 224	△ 1	△ 225	1,788	1,955
平成18年9月30日残高	15,538	10,182	24,201	△ 284	49,638	1,616	15,774	17,390	16,667	83,695

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

単独財務諸表の概要

中間貸借対照表 (平成18年9月30日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	54,464	流動負債	42,096
現金及び預金	5,921	支払手形	636
受取手形	538	買掛金	12,987
売掛金	27,012	短期借入金	21,821
有価証券	106	未払金	2,588
たな卸資産	19,801	未払法人税等	54
その他の金	1,090	未払費用	1,265
貸倒引当金	△ 5	賞与引当金	989
固定資産	101,481	設備解体引当金	42
有形固定資産	93,651	設備支払金	294
建物及び構築物	14,971	設備の他	836
機械及び装置	34,417	固定負債	57,002
車両及び運搬具	64	長期借入金	40,793
工具器具及び備品	508	退職給付引当金	2,948
土地	41,828	環境対策引当金	411
建設仮勘定	1,861	繰延税金負債	968
無形固定資産	551	再評価に係る繰延税金負債	11,650
ソフトウェア	184	その他の	229
その他の資産	366	負債合計	99,099
投資その他の資産	7,278	(純資産の部)	
投資有価証券	7,175	株主資本	39,795
その他の金	132	資本金	15,538
貸倒引当金	△ 29	資本剰余金	9,608
		利益剰余金	14,708
		自己株式	△ 59
		評価・換算差額等	17,051
		その他有価証券評価差額金	1,393
		土地再評価差額金	15,657
資産合計	155,946	純資産合計	56,846
		負債及び純資産合計	155,946

(注) 1. 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。
 2. 有形固定資産の減価償却累計額 124,030百万円
 3. 保証債務 798百万円

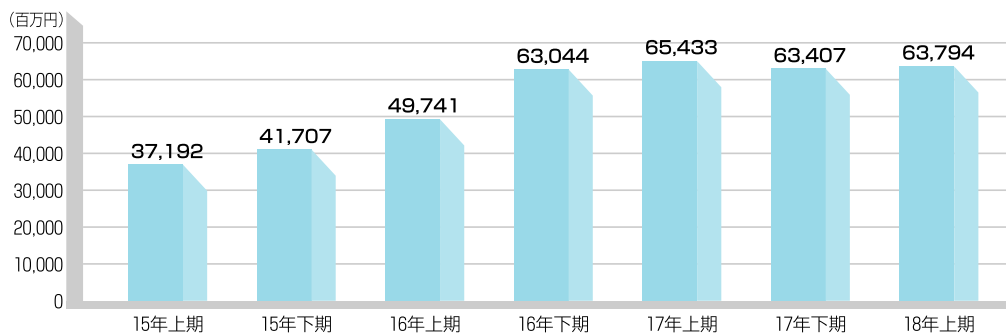
中間損益計算書 (平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位:百万円)

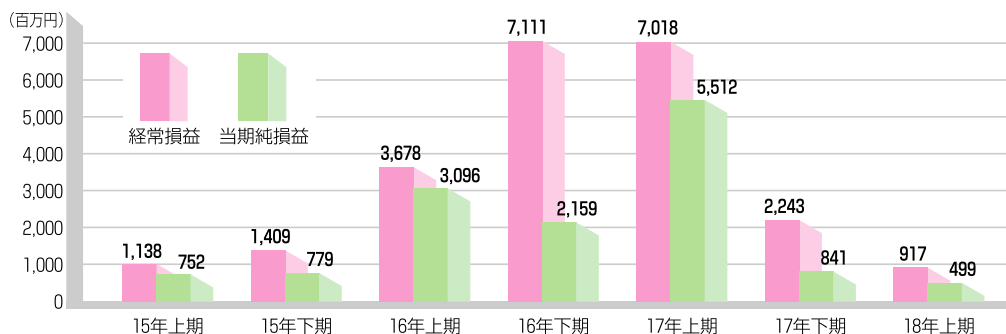
科 目	金 額
売上高	63,794
売上原価	57,283
売上総利益	6,510
販売費及び一般管理費	4,969
営業利益	1,540
営業外収益	241
営業外費用	864
経常利益	917
特別利益	—
特別損失	414
税引前中間純利益	502
法人税、住民税及び事業税	4
法人税等調整額	△ 0
中間純利益	499

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

売上高の推移



経常損益・当期純損益の推移



中間株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株 主 資 本						評価・換算差額等			純資産 合計	
	資本金	資 本 剰 余 金			自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計							利益剰余金 その他利益剰余金 繰越利益剰余金
平成18年3月31日残高	15,538	5,853	3,755	9,608	14,914	△ 54	40,006	1,572	15,658	17,231	57,237
中間会計期間中の変動額											
剰余金の配当					△ 655		△ 655				△ 655
役員賞与の支給					△ 50		△ 50				△ 50
中間純利益					499		499				499
自己株式の取得						△ 5	△ 5				△ 5
土地再評価差額金の取崩					1		1				1
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)								△ 178	△ 1	△ 179	△ 179
中間会計期間中の変動額合計					△ 205	△ 5	△ 211	△ 178	△ 1	△ 179	△ 390
平成18年9月30日残高	15,538	5,853	3,755	9,608	14,708	△ 59	39,795	1,393	15,657	17,051	56,846

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

中期設備投資の実施

中期経営計画による大型設備投資として、本年7月に本社・船町工場内にて製品倉庫建設の地鎮祭と棒線工場棒鋼オフライン精整ラインの設置工事安全祈願式を執り行いました。本設備は、平成19年1月中旬頃から操業開始の予定です。

また8月には、薄板の生産能力増強のため、熱延工場増強工事起工式を執り行いました。



新倉庫地鎮祭



新棒鋼オフライン精整設備工事安全祈願式



熱延工場増強工事起工式

(社)日本鉄鋼連盟主催 第68回自主管理活動発表大会 「感動賞」2件受賞

本年9月、(社)日本鉄鋼連盟主催の第68回自主管理活動発表大会にて、加盟各社38事業所のJK(自主管理)活動事例発表の中、当社から3事例の発表を行い、うち2事例が見事「感動賞」を受賞いたしました。感動賞は、毎年4事例に対して贈られる名誉ある賞です。

〔受賞事例〕

- コークス工場コークス課
「押し機小蓋開閉操作不良による手出し作業の撲滅」
- 製鋼工場転炉課「吹止温度の低減」

同9月、JK活動社内発表大会が第100回を迎えました。本大会では、大同特殊鋼株式会社様をお迎えし、特別事例発表をしていただきました。当社では、「SQCをJK活動で」(S:安全、Q:品質、C:コスト)を合言葉に、現場力を向上させる最大のツールとしてJK活動を推進しています。

〔JK(自主管理)活動とは、直・協従業員がグループを作り、目標を掲げ職場の改善に取り組む活動です。〕



授賞式



第100回記念パーティー

労働組合結成60周年

中山製鋼所労働組合は1946年（昭和21年）に結成され、本年3月に結成60周年を迎えました。4月13日、来賓・組合員総勢220名が出席し、労働組合結成60周年記念祝賀会を開催いたしました。組合を代表して佐藤組合長の挨拶、来賓を代表して神崎前社長より挨拶がありました。労使一体となって、この10年間の荒波を乗り越えてきたことに触れ、今後も共に強固な企業基盤を築きあげていくことを誓いました。



佐藤組合長による挨拶

緑化の推進

本年5月に鉄鋼安全表彰「努力賞」受賞の記念に植樹を行いました。さらに神崎前社長の退任記念にはご本人から「羅漢槲」を寄贈、植樹いただきました。

本年2回目の植樹祭として、10月に転炉工場南西門に約900本の苗植樹、ワラ敷きを行いました。



鉄鋼安全表彰記念植樹



神崎前社長による退任記念植樹



転炉南門ゲート



植樹祭



転炉南門モニュメント

当社の概要 (平成18年9月30日現在)

主要な事業内容

区 分	主 要 品 目		
鉄 鋼 事 業	鋼 材	鋼 板	熱延鋼帯、厚板、中板、縞板、鍍金鋼帯
		条 鋼	線材、バーインコイル、棒鋼
	コークス、鋼片、副産物等		
エンジニアリング事業	建設(建築総合工事)、海洋(鋼製魚礁・増殖礁)、ロール、バルブ、機械加工・組立		
不動産事業	不動産の賃貸・売買		

会 社 設 立

大正12年(1923年)12月22日

資 本 金

15,538,509,066円

従 業 員 の 状 況

従業員数875名(ただし、出向者79名を含んでおりません。)

主要な事業所

【本社・船町工場】

大阪市大正区船町一丁目1番66号 〒551-8551

電話(06)6555-3111(総合案内) FAX(06)6555-3170

【東京支店】

東京都千代田区有楽町一丁目9番4号 蚕糸会館 〒100-0006

電話(03)5220-7330(代表) FAX(03)5220-7333

役 員

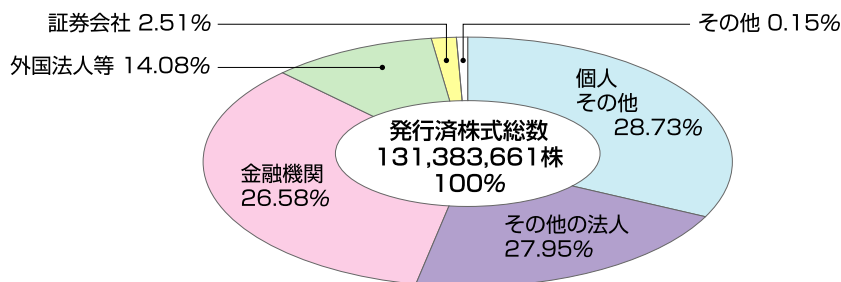
代表取締役社長	藤井博務	取締役	今井武
常務取締役	柳澤俊三	取締役	渡邊秀幸
常務取締役	川村稻造	取締役	西澤茂樹
常務取締役	針原保典	取締役	吉村敏
常務取締役	前川宗里	監査役(常勤)	伴隆彦
常務取締役	藤井和秋	監査役	飯田茂夫
取締役相談役	神崎昌久	監査役	松尾浩一
取締役	三木隆司	監査役	福西惟
取締役	箱守一昭		

会 計 監 査 人

みすず監査法人

株式の状況

1. 会社が発行する株式の総数 250,000,000株
2. 発行済株式の総数 131,383,661株
3. 1単元の株式の数 1,000株
4. 株主数 12,363名
5. 所有者別株式分布状況



株主メモ

- **決算期** 毎年3月31日
- **定時株主総会** 毎年6月
- **基準日**
定時株主総会・剰余金の配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
その他必要がある場合には、あらかじめ公告する一定の日
- **単元株式数** 1,000株
- **株主名簿管理人**
〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- **同事務取扱場所（お問い合わせ先）**
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 (0120)094-777

- **同取次所**
三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
野村證券株式会社 全国本支店
- **証券コード** 5408
- **公告方法** 電子公告
<http://www.nakayama-steel.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。

お知らせ

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話（通話料無料）
☎0120-244-479（本店証券代行部）
☎0120-684-479（大阪証券代行部）
インターネットホームページ
<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>



NAKAYAMA
STEEL WORKS, LTD.

<http://www.nakayama-steel.co.jp/>



r100

古紙配合率100%再生紙を
使用しています。



環境に配慮した大豆油インキを
使用しています。